

# 日本近代医療制度 「医制」は だれが 起草したのか

令和7年5月17日「土」

13時半～15時（開場13時）

聴講無料・当日受付

場所一佐賀城本丸歴史館外御書院

講師一尾崎耕司 大手前大学教授

明治新政府の揺籃期に、わが国はじめての近代的な医療制度を構築したのはだれだったのか？

その根幹をなす「医制」の起草について、従来の医学史では長与専斎によるものであるという見方が有力視されてきました。ところがこの通説に異を唱え、草稿や周辺資料などをもとに、「医制」を執筆したのが相良知安であるという研究が発表されました。

この見解を提示した医学史研究者・尾崎耕司氏に、相良知安の功績について解説いただきます。

佐賀城本丸クラシックス4『相良知安関係文書』 青木歳幸編 菊判 225×152mm／上製貼函／316頁 価格 8800円（税込）

佐賀県立佐賀城本丸歴史館

〒840-0041 佐賀市内2-18-1 TEL 0952-41-7550



身障者等駐車場 車イス対応トイレ

授乳室



© 2025 Saga Prefecture. 佐賀県